

「論語」「貞観政要」「5S」「英語教育」を活用して足利独自のグローバル人財の育成を

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 日本人としてのアイデンティティをしっかりと持ちながら、世界や日本、地域の課題を解決するグローバル人財の育成の必要性が叫ばれている。
2. 足利市では「論語」と「貞観政要(じょうがんせいよう)」、「足利流 5S」、「英語」の 4 つを兼ね備えた足利独自の人財の育成を目指すべきと考える。
3. 日本最古の学校、足利学校のある街、足利市では、小学生から大人まで論語の素読が盛んだ。仁徳すぐれた君子の道を説いた論語の素読が足利市ほど行われている街はない。
4. 中国の唐の時代の繁栄を築いた太宗は、耳に痛い部下の忠告を聞き入れて自分の身を正したことで知られる。徳川家康は、その太宗の教えを説いた「貞観政要」の出版を足利学校に命じた。足利市は企業の社会的責任、コーポレートガバナンスの原典とも言われる「貞観政要」に最もゆかりの深い街とも言える。
5. 足利市では、足利商工会議所の「足利 5S 学校」を中心に働く人々の意見を尊重した「足利流 5S」が活発に行われ、一昨年は「世界 5S サミット」まで開催。日本国内ばかりでなく、世界の人々から高い評価を得た。世界一 5S の盛んな街として足利市は知られている。
6. あまり知られていないが、足利市の公立小学校・中学校の英語教育は、公立学校の中では日本で最も進んだ段階にある。小学校の ALT の先生、クラス担任の先生、中学校の英語の先生は、日本で最高レベルの研修をここ数年間、定期的に行い、極めて高い指導力を持つに至った。足利市の小・中学校のほとんどの先生方が英語で英語の授業を行っていることは、時代を先取りする取り組みとして最大の評価に値する。
7. 日本で最も盛んに行われている「論語」と「貞観政要」、「5S」、「英語」の 4 つの取り組みをもっともっと磨き込み、足利市を挙げて足利独自のグローバル人財の育成を行うことを新年にあたり提案したい。